

テーマ 学校教育・授業

課題やレポート等で学校教育・授業に初めて取り組む際にはどのような資料が有効なのでしょうか。学校教育・授業を学ぶうえで読んでおくべき資料・ツールをあげました。みなさんの学びの参考にしてみてください。

本を探すとき、こんなキーワードで探してみよう：

教育 実践, 授業, 教育 教室 など

図書館にある資料の一例

入門書 ☆基礎を学んでみよう。

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『兔の眼』灰谷健次郎、角川文庫、新潮社文庫, 1984.12	B1A 和開図書	913.6/HK-U	10+0279735	初版本は 1974 年の刊行。新卒の小谷先生が、決して心を開こうとしない鉄三という少年と格闘しながら成長していく物語。作文教育や（今でいう）特別な支援を必要とする子どもとその対応の理解等々、いろいろな角度から読むことができる。
『窓ぎわのトットちゃん』黒柳徹子、講談社文庫, 1984.4	8号館 4F (8号館和図書)	915.9/KT-M	10+0061243	トットちゃんがユニークな教育で知られるトモエ学園で、校長先生の愛情の元のびのび成長していく自伝的物語。いわゆる「新教育」の理解にもなる。
『5年3組リョウタ組』石田衣良、角川文庫, 2010.6	8号館 2F (8号館企画書架)	B	98+0005999	若き青年教師、中道良太の物語。学級集団づくり、同僚との関係等、現在の教育問題の一面を具体的に描いている。
『給食のおにいさん』遠藤彩見、幻冬舎文庫, 2013.10	8号館 2F (8号館企画書架)	B	98+0005008	学校給食調理員を主人公とした（おそらくはわが国初の）食育小説。給食調理室を主な舞台に、給食指導から生徒指導、モンスターペアレントまで、やはり今日の学校教育をめぐる諸問題がリアリティ豊かに描かれている。

専門的な図書 ☆より深く学ぶにはこちらを読もう！

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『教育学のすすめ』 齋藤喜博、筑摩書房, 1969.5	8号館 3F (8号館和図書)	371.0/SK-K	10+0333683	<p>本著は、群馬県の小さな小学校（「島小」）での教育活動をもとにした齋藤喜博の「教授学」を著したものである。この本は、科学的な教育学の概論書ではなく、「授業とか行事とかをどう考え、どうする方法をとっていったとき」、子どもの可能性を引き出すことができるかを実践的に述べている。（図書館には齋藤喜博の『教師の仕事と技術』375/Sa25 が配架されている。）</p>
『教師花伝書』 佐藤学、小学館, 2009.4	8号館 3F (8号館和図書)	374.3/SM-K	10+0331880	<p>本著は、教師として生き、成長するために必要なことを、世阿弥の『花伝書』に着想を得た表題のもとに書いたものである。3000回を超える授業参観を経て見えてきた、教師が必要とする専門家としての「省察」と「研究」、職人としての「熟達した技能」「経験」「勘やコツ」を実際の授業をもとに著したものである。（図書館には『授業を変える学校が変わる』375.0/SM-Z/2 など佐藤学の著書が多数配架されている。）</p>
教育：せめぎあう「教える」「学ぶ」「育てる」 広田照幸編 岩波書店, 2009.12	8号館 3F (8号館和図書)	313.19/ZT-O/5	10+0255068	<p>本著は、義務教育段階での公教育における、親の自由、子どもの自由、教師の自由、そして政府の自由の問題を取り上げている。「教育の自由」とは、子どもの自由を制約し、強制を通して自立的な存在を育てるということでもある。親、子ども、教師、政府の誰がどこまで「教育する自由」をもつのかなど、さまざまな視点から教育における自由を語っている。</p>